

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	05 秋田県
市区町村名	
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
05000秋田県	②学校と地域の課題	05 その他	地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター等が参画していない学校運営協議会が3割程度ある。	引き続き、協議会や研修会、市町村教育委員会訪問で促進する。	参加者の固定化が見受けられるため、幅広く周知する。担当職員が変わった市町村においては、地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター等が学校運営協議会に参画する有用性等について学ぶ場を設ける。	地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター等が参画する学校運営協議会の割合が高まることにより、持続可能な協働体制が構築される。	地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター等が参画する学校運営協議会の割合	67.8	%	69.0	70.4	03 本年度の目標値を達成し、詳細の改善が見られた 当課が開催している協議会や研修会において、各自治体の取組状況等を共有する場を提供できたことにより、地域学校協働活動推進員等の役割の重要性が広く認知されたものと感じている。まだ、一部に「学校支援地域本部」の名称が残っていたり、「地域コーディネーター」から地域学校協働活動推進員への委嘱が進んでいない自治体等もみられるので、今後継続的に働きかけを行い、地域と学校の連携・協働体制をより深めていきたい。